

『田んぼの生物多様性向上10年プロジェクト』 Rice-paddy Biodiversity Enhancement Decade

2014-15年の活動と2020年に向けての提言



NPO法人ラムサール・ネットワーク日本 (RNJ)

共同代表 呉地 正行



田んぼから始まる！生きもののにぎわい





にじゅうまるCOP2全体会合 名古屋大学野依記念学術交流館 2016/02/20



田んぼ10年プロジェクト【Rice BED Project】

2014-15年度の活動 (1/3)

田んぼ10年・地域交流会開催

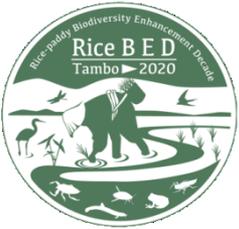
- 2014年2月8日 第2回地域交流会：
宇佐市(大分県):後援:大分県・RNJ
- 2016年1月 第3回地域交流会in琵琶湖
(22日:野洲市, 23日京都市):主催:
RNJ
- 2016年2月26日 第4回地域交流会
豊後大野市(大分県)(予定):
主催:RNJ 豊後大野市 大分水フォーラム

関連シンポジウム&講演会など

- 2014年12月5-6日 第3回生物多様性を
育む農業国際会議(ICEBA2014):大崎
市(宮城県)
- 2016年1月30日 なつみずたんぼシンポ
ジウム(東京大学)
- 2016年2月20-21日にじゅうまるCOP2(名
古屋大学)
- 2016年2月28日 WWD記念イベント
「ラムサールが結ぶ荒尾干潟の海苔と
蕪栗沼・周辺水田のお米」:荒尾市(熊
本県):主催:荒尾市 (予定)



2016.02.20-21 にじゅうまるCOP2 無断転用禁止



田んぼ10年プロジェクト【Rice BED Project】

2014-15年度の活動 (2/3)

コナギを愛でて食べる会・各地で開催

- 2014年7月12日(第1回:蕪栗沼・周辺水田)
- 2014年8月27日(第2回:気仙沼・大谷)
- 2015年7月19日(第3回:蕪栗沼・周辺水田)
- 2015年8月20日(第4回:気仙沼市大谷)

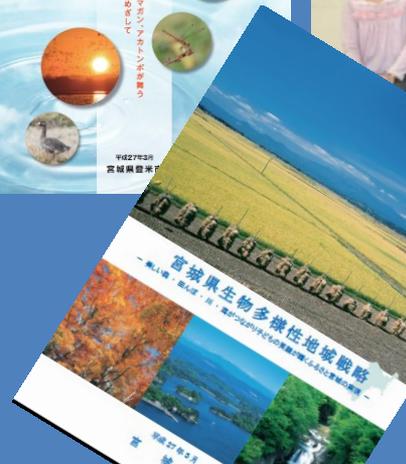


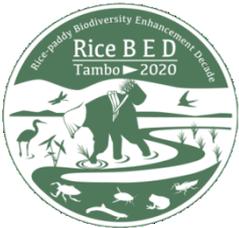
除草から収穫へ



国、地方自治体との協働

- 2009年7月以降継続:水田決議円卓会議
備会開催(2014-15年に16回/のべ49回開
催:RNJ、農水省、環境省、国交省)
- 2015年3月 登米市生物多様性地域戦略策
定に参画:田んぼ10年プロジェクト盛り込ま
れる。
- 2015年11月21-22日大崎市ラムサールフェ
スティバル(蕪栗沼ラムサール10周年)
- -2015年3月 宮城県生物多様性地域戦略
作りに参画





にじゅうまるCOP2全体会合 名古屋大学野依記念学術交流館 2016/02/20

田んぼ10年プロジェクト【Rice BED Project】

2014-15年度の活動



国際的なネットワークづくり

- **CBDCOP12**: 2014年10月6-17日 (ピョンチャン、韓国): ブース展示 / 英語版行動計画作成リリース
- **ラムサールCOP12**: 2015年6月1-9日 (プンタデルエステ, ウルグアイ): 水田サイドイベントを日本政府と共催。#[1112] Follow-up of rice paddy resolution (X.31): アジア、アフリカ、中南米の水田ネットワーク化

【JICAとの協働】

- 2014年6月17日: 「地域における湿地の生物多様性の保全と持続的利用」蕪栗沼研修
- 2015年1月14日: ウガンダでのRice BEDプロジェクト勉強会 (JICA本部+ウガンダ(テレビ電話))
- 2015年2月24-26日 (コスタリカ): JICA中南米湿地保全地域セミナー「湿地における持続可能な生産」参加講演

啓発普及活動

- メーリング・リスト/ HPへの情報掲載

【発行・刊行】

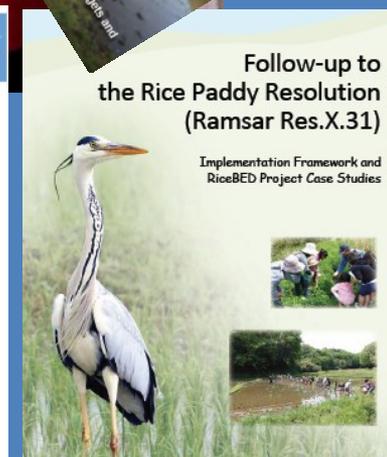
田んぼだより発行 Vol.1-5

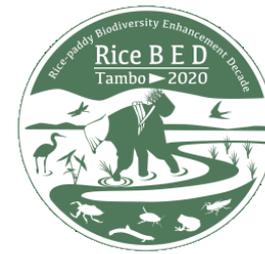
Rice BED Access Guide刊行 (2014 for CBD COP12)

Action Plan for Rice BED Project 刊行 (2014)

Follow-up to the Rice Paddy Resolution (Ramsar Res.X.31) –

Implementation Framework and RiceBED Project Case Studies刊行 (2015.06 for Ramsar Cop12)





にじゅうまるプロジェクトの今後に向けて 田んぼ10年プロジェクト⇒2020: 宣言と提言

- 愛知目標とリンクした水田目標の達成程度を検証し、より多くの目標達成をめざします。
- 国内での取り組みを中心としながら、水田と関わりが深い、アジア、アフリカ、中南米の関係者とのネットワークを具体化し、「国連生物多様性の10年」の国際的なリーディングプロジェクトをめざします。
- 地域交流会などの開催やその支援を行い、賛同者の数を増やし、活動のすそ野を広げて、田んぼの生物多様性向上の主流化をめざします。
- 情報発信の体制を整備し、関係者が利用しやすいHPの整備を行います。
- 水田を軸とした流域の一次産業のネットワークづくりを支援し、生物多様を基盤とした循環型地域づくりに貢献します。



ご清聴ありがとうございました



田んぼの生物多様性向上10年プロジェクト

- <http://www.ramnet-j.org/tambo10/>

皆様のご参加をお待ちしています。